

1 学校教育目標

「主体的・対話的に深く学び、共に高め合う児童の育成」

(1) 期待する学校像

- 安心・安全に学ぶことのできる学校
- 確かな学力とたくましく生きる力が身につく学校
- 意欲と喜びにあふれた学校

(2) 期待する児童像

- よく考え、進んで学ぶ子
- やさしく、思いやりのある子
- 健康でたくましい子

(3) 期待する教師像

- 分かる授業づくり・確かな学びのある授業づくりに努める教師
- 子どもと共にある教師
- 責任感ある行動をし、保護者・地域から信頼される教師

児童の目標

「かしこさ（よく考え、進んで学ぶ態度） やさしさ（思いやりの心）
たくましさ（健康でたくましい体）を身につけよう。 瑞穂っ子」

スローガン

「よく考え、進んで取り組み、すなおに表現する」

2 学校経営方針

石川県教育委員会が掲げる「石川の教育振興基本計画」「いしかわ学びの指針12カ条+」及び羽咋市教育委員会「学校教育の指導指針の重点」を教育活動全般で推進することにより、保護者や地域から信頼される学校の実現を目指す。

(1) 子供が安心・安全に学ぶことができる学校づくりを組織的に推進する。

- ① いじめ等、どこに起きてもおかしくないという意識で、アンテナを高くする。
- ② 報告・連絡・相談を適切に行う。
- ③ 問題への早期対応・丁寧な対応を行う。
- ④ 全職員で全校児童を見ていく。

(2) 確かな学力とたくましく生きる力の育成を目指すために、主体的・対話的に深く学んだり活動したりする教育活動を推進する。

- ① 主体的・対話的で深い学びができる授業づくり・活動づくりを行う。

- ② 学級経営を基盤とし、互いに認め合い高め合う学級づくりを行う。
- ③ 学習ルールの確立を図る。
- ④ 学力調査結果の分析に基づき、基礎・基本の確実な定着と活用力の育成を図る。
- ⑤ 家庭学習の充実を図る（間違えた問題・分からなかった問題・難しかった問題を復習する）。
- ⑥ 外国語活動の充実を図る。
- ⑦ G I G A スクール構想の充実を図る。
- ⑧ 補充学習の充実を図る（朝学習・放課後学習）。

（３）子どもの規範意識の育成を重視し、落ち着きと活気ある学級づくり、学校づくりを推進する。

- ① 道徳教育の充実を図る。
- ② 集団生活の中での規範意識の育成を図る。
- ③ 明るく元気な挨拶ができる児童の育成を図る。
- ④ 黙働清掃を推進する。

（４）率先垂範の姿勢で、教師が子どもの手本となるように努める。

- ① 教師も児童と一緒に清掃を行う。
- ② 子どもに指導することは、教師自身も襟を正す。
- ③ 様々な取組を行った後の見取りを大切にする。

（５）学校生活の基盤となる基本的生活習慣・体力づくりを推進する。

- ① 早寝・早起き・朝ごはんの推進に努める。
- ② 縄跳び・スポチャレ等に積極的に取り組み、体力の向上に努める。

（６）家庭や地域との連携を図り、信頼される学校づくりを推進する。

- ① 服装、電話対応、時間厳守等、失礼のないようにする。
- ② 職員室への来校者（保護者、業者等）には、立って対応する。
- ③ 保護者や地域の声を真摯に受け止め、丁寧で迅速な対応を行う。
- ④ 体罰、飲酒運転、セクハラ等、児童・保護者の信頼を裏切る行為を行わない。
- ⑤ 学校や教師が厳しく評価される時代であることを自覚して職務に当たる。

（７）教育の専門職として互いに啓発し合い、自らの資質向上を図る。

- ① ワークライフバランスの充実を図り、効率的な働き方に努める。
- ② 専門職としての自信と誇りを持って教育活動を行う。（そのためには絶えず研究と修養を行う。）
- ③ 互いに鍛えあい、高めあう校内研修を行う。
- ④ 若手教職員の育成に努める。

3 本年度の重点項目

(1) 安心・安全な学校づくり

目 標	取 組
○楽しく、協力しあえる児童の育成 <目標> 学校が楽しいと感じる児童 90%以上 <目標> いじめ解決100% <目標> 不登校0	<ul style="list-style-type: none"> ・縦割り活動の推進 ・週1回の児童理解の会の実施 ・月1回のいじめアンケートの実施 ・児童継続観察カードの作成と活用
○元気な先挨拶ができる児童の育成 <目標> 大きな声で自ら挨拶できる児童90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・児童会を中心としたあいさつ運動の実施

(2) 確かな学力の育成

目 標	取 組
○授業改善及び補充学習の充実による学力向上の推進 <目標> 授業がわかる90%以上 <目標> 学期ごとの単元テストで正答率87%以上 <目標> 県・全国学力調査で県平均+13ポイント以上 <目標> 市学力調査で正答率87%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・言語能力の育成を目指した授業づくり ・主体的・対話的に深く学ぶ授業づくり ・ICTを活用した授業づくり ・定着を確認できる授業づくり ・放課後ドリルタイムでの補充・発展学習の実施
○家庭と連携した基本的な学習習慣の確立 <目標> 家庭学習 90%以上 <目標> 親子で漢字検定受検の機会設定	<ul style="list-style-type: none"> ・10分×学年+10分 ・間違えた問題を自学で復習 ・親子で一緒に家庭学習に取り組む
○学力向上ロードマップに基づく学校研究の組織的・日常的・計画的な実施 <目標> 月ごとの確実な実施 90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・各部会における学力向上に向けた取組(学力調査に基づく検証・提案、OJT、ノートチェック、生活チェック等)

(3) 多忙化改善を図りながら若手教職員を育成する取組

目 標	取 組
○定時退校日の設定 <目標> 定時退校日・ノー残業デー達成率90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週水曜日を定時退校日(退校時刻 18時)とする。内、2日をノー残業デー(退校時刻 17時)とする。
○時間外勤務時間の削減 <目標> 時間外勤務時間が月45時間を超えない 内部評価「多忙化改善」A+B100%	<ul style="list-style-type: none"> ・業務分担及び推進の適正化 ・スクラップ&ビルドの推進 ・会議等の効率化
○若手教職員の育成 <目標> 3年目 自己評価シート A評価14項目中5個以上 6年目 自己評価シート A評価14項目中7個以上 10年目 自己評価シート A評価14項目中10個以上	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修を中心とした定期的OJTの実施 ・ミニOJT(月2回程度)・コンサルテーションを中心とした日常的OJTの実施

(4) 英語教育の推進

目 標	取 組
○児童の英語能力の育成 <目標> 英検5級取得率80%(5・6年生) 6年生:90% 5年生:60%	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語活動の授業の充実 ・イングリッシュデイの設定(月・火) ・イングリッシュウィークの実施(月1回) ・朝自習での補充学習の実施

4 本年度の取組項目

(1) 豊かな心の育成

目 標	取 組
○心を豊かにする読書活動の推進 <目標> 貸出冊数(年間・月) 低学年……年間90冊、月8冊 中学年……年間70冊、月6冊 高学年……年間50冊、月4冊	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書の実施 ・読み聞かせの実施(図書ボランティア、図書委員会) ・おすすめの本の紹介(保護者との連携)
○奉仕する心の育成 <目標> 黙働清掃90%	<ul style="list-style-type: none"> ・黙働による清掃活動を実施

(2) 健康でたくましい体の育成

目 標	取 組
○体力の向上 <目標> 体力テストの全項目で県平均超90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じたスポーツチャレいしかわの実施 ・体育的行事の前に「チャレンジタイム」の週間を設定
○進んで体力づくりを行う子の育成 <目標> ジャンプアップタイム参加達成率90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・なわとび検定を実施し、合格者に認定書を発行
○基本的な生活習慣を身につけた児童の育成 <目標> 早寝、早起き、朝ごはんの達成率90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の生活チェックの実施 ・生活だより発行による保護者への啓発

(3) 学校評価の活用(保護者・地域との連携)

目 標	取 組
○保護者・地域への情報発信 <目標> 学校及び学級だよりを月2回以上発行 <目標> HPを月3回以上更新	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、学級の児童の様子を伝える便りの発行 ・学校行事等を実施後、速やかな更新
○学習環境の整備 <目標> 学校関係者評価の関連評価項目A	<ul style="list-style-type: none"> ・除草、ゴミ拾い及びPTAと連携した奉仕作業、親子清掃等の実施 ・地域と連携し、登下校時の安全を確保するための要望書を提出

(4) 人材や体制を育む

目 標	取 組
○授業研究の積極的な実施 <目標> 一人年間2回以上研究授業を実施	<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業や授業整理会において数値的指標を取り入れた客観的な検証
○OJTタイムの実施 <目標> 定期的OJT① 月1回実施 定期的OJT②(長期休業中)6回実施 日常的OJT 月2回程度実施	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回ノートチェックを実施 ・ベテラン・中堅による研修会 ・学習指導・生徒指導・学級経営・校務分掌・悩み事等、タイムリーな研修